

TYPE OF
INDUSTRY

男性用くしに抗菌性

TOKU、LIFE ヨウ素が持つ高い抗菌力（約99.9%）を備えることで、の一般向けの消費税込、理容室のような不特定多数が利用する現場で、000円、Lサイズが、安心して使用できる7900円で、Makという。また、アルミukeでは、それぞれ1割引きで販売中だ。

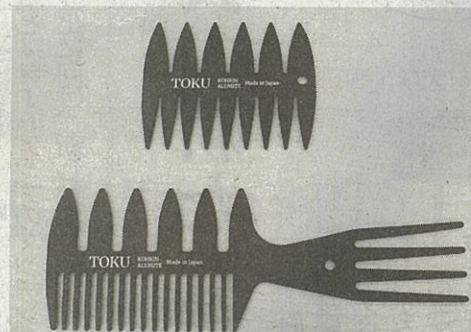
春日井アルマイト

アルミニウムの表面処理を主に手がける企業がBツ（対消費者）市場の開拓に挑んでいる。春日井アルマイト工業（長野県岡谷市、横松和社長）は、アルミの表面にヨウ素をコーティングする独自技術「抗菌アルマイト処理」でアルミ製の男性用コーム（くし）に抗菌性を持たせた「TOKU LIFE TIME COMB」を開発した。3月に一般向けに発売する計画で、現在はクラウドファンディング「Makake」で先行販売をしている。

（長野支局長・江川内雅史）

アルミ表面をヨウ素コート

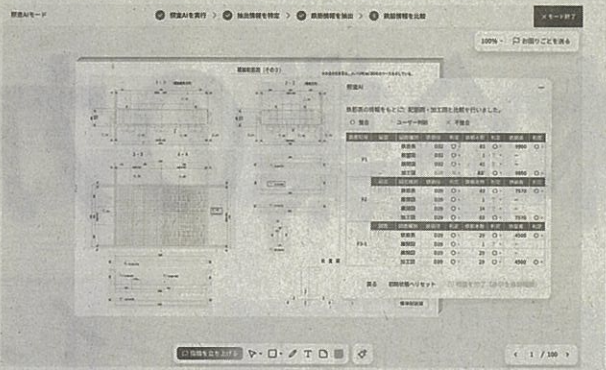
BツC開拓 3月販売



製造面では表面処理 他社では簡単にまねでし、特許を取得した。を担う同社のほか、レキない」と横松和樹取 この特許技術の活用を「加工や文字を刻 締結は話す。地域に根 探っていたところ、横 谷、岡谷市内の協力会 ジャパンの品質も強み 社で行う、オール岡 谷の体制を構築。 万円の売り上げを目指 けで、同商品の開発に 踏み切ったという。

業は1960 年設立のアル 銀座 葛屋書店（東京 ミ表面処理メ 都中央区）で開かれる ーカー。長年 BツCのビジネスに 培ってきた技 術力をもと するイベント「フアク に、抗菌アル トリースグズ」（日刊 マイトを開発 展し、それに併せて一 アルマイト処 理で抗菌性を 持たせたコー ー、Mサイズ り、こちらも同イベン ④とLサイズ トで披露する予定だ。

鉄筋照査AIが自動で鉄筋図の整合性を確認する



鉄筋照査 6割時短

MaimeがAIシステム

Maime（東京都新宿区、高取佑社長）は、AI（人工知能）を用いて鉄筋図を自動でチェックするシステム「鉄筋照査AI」の提供を2月中旬に始める。鉄筋図の確認に要する時間を6割近く短縮できる。鉄筋図の確認を手がける企業向けに販売する。

鉄筋図は鉄筋のサイズや配置する間隔を示した図面で、網目状の鉄筋照査AIは図面上の文字や網目の図形をAIが読み取り、間違いの有無を確認する。読み取りが難しい手書きの文字などは人が確認する必要があるが、簡単な部分はAIが高精度にチェック可能とされている。

鉄筋照査AIは図面をAIが読み取り、間違いの有無を確認する。読み取りが難しい手書きの文字などは人が確認する必要があるが、簡単な部分はAIが高精度にチェック可能とされている。

金属技

散接合ができる。金属技術は茨城工場、半導体の成膜などに用いるスパッタリングターゲットのHIP処理や装置に取り付けるためのパッキングプレート

とターゲットをHIP処理で接合している。同工場では2基のHIP装置を導入するたため、延べ床面積約3300平方メートルの建屋を新築している。

金属技術の26年2月期の国内単体の売上高は約140億円（前期比約6%増）を見込んでいる。同社グループが保有するHIP装置は国内22基、海外6基。

スマートクラウド新機能

Smart Craft（東京都渋谷区、浮島也社長）は、製造現場の業務効率化や生産性向上を支援するクラウドサービス「Smart Craft」の新機能「AIアシスタント」の提供を開始した。現場作業者が自然な言葉で依頼するだけで、分析や改善提案、品質・検査記録などのデータを自動的に生成し、AIが分析して改善提案を行う。AIアシスタントは、Smart Craftに蓄積された工程指示や出来高実績、品質・検査記録などのデータを自動的に生成し、AIが分析して改善提案を行う。

営業益 28年11月期2.2倍

日本 フィルコン 電子部材・環境伸長

日本フィルコンは2026年11月期（28年11月期）の3か年中期経営計画を策定した。主要事業の28年11月期売上高は産業用機能フィルタ・コンベヤー事業が国内製紙製品向け市場の縮小で190億円（25年11月期比5.0%減）となる一方、電子部材・フォトマスク事業が55億円（同20.8%増）、環境・水処理関連事業が33億円（同48.9%増）に伸びる。横ばいの不動産賃貸事業を含め、全体で売上高288億円（同3.7%増）、営業利益15億円（同2.2倍）を達成する。

技術者採用、本気度示す

濱坂電機

ちょっと訪問



門下社長

濱坂電機は主に工場の電気設備工事や生産設備の制御、電設資材の販売を手がける。門下和夫社長は「設計から施工、監理を技術者が一貫して行えることが強み」と胸を張る。顧客にとって担当する窓口が明確になると同時に、技術者側ではやりがいにつながっている。力を入れているのは採用と人材育成だ。採用においては「本気度を示すのが大切」とし、社長自ら全国各地で行われる合同説明会などに出席。学生らのエントリー数は400人以上に上る。人材育成では企業内大学「はまカレッジ」を立ち上げた。従来型の社員研修にあたる一般課程と専門課程を設置し、再現性を重視した教育を行っている。「専門課程は通常だと育成に5〜10年かかる一人前の技術者を3年で育てる」と明確な目標を掲げる。（立川）

ホープ



野間さん

業界地図描く △：「ドローン操縦者には地味好きが多いはず」と笑うのは、ロジック（東京都練馬区）社長の野間智行さん。山中でのドローンによる運搬事業などを広げていく構えだ。

各種クレーン設計、製造、据付、改造、保守点検、メンテナンス、ウェイトレンタル

各種クレーン設計、製造、据付

保守メンテナンス

ウェイトレンタル

TYPE OF
INDUSTRY